

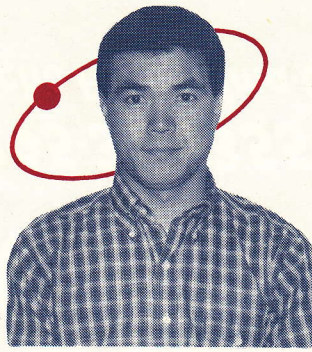
●スエット・シャツ

最近、スエットという素材が見直され、スポーツウェアからタウンウェアに変わりつつある。これはこれで実に楽しいことだ。それでは本来のスポーツウェアとしての価値が変わったかと言うと依然重要な素材に違いない。僕たちはやはり従来のスポーツウェアとしてとらえたい。去年あたりまで、大爆発的人気だったショップ名入オリジナルトレーナーがなんと今年に入り（とくにブームの草分け的ポートハウス）がファッション誌の槍玉に上げられているのはどういう訳か？反対に、店の名まえなど、どこにも入っていないカンサイ・スポーツ、イッセイ・スポーツが伸びている理由はどこにあるのか？つまりウェアはさりげなく粋に着るものでシンプルなものややはり良く、自分たちは店を宣伝して歩くのではないという欲求の表われに他ならない。だから当然スエットシャツもシンプルでひかえめなものが最高なのです。

●BDシャツ

まず、これがなければ僕たちはこれほどまでアイビーに興味をそそられなかったはずだ。まさにベーシック・ウェアのダークホース的存在。どんなものにコーディネートしても柔軟性があり、それぞれに違った顔をのぞかせてくれる。レジメンタルタイよし、洗いざらしのジーンズよし、バミューダーによし、といった具合……もうこれ以上説明はいらさないね。当店では、他のメーカーより一回り大きくゆったり着れることで定評のある《ウェイ・アウト》の製品を御用意いたしました。

GREETING



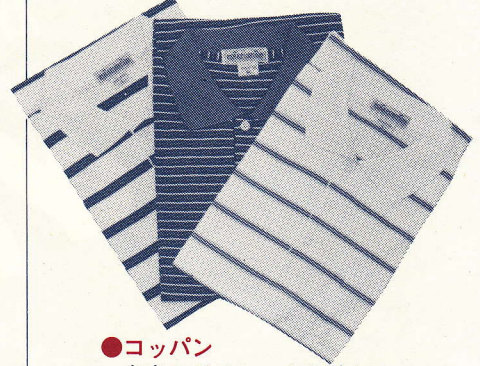
店長 高橋 省吾

VANジャケット全盛時代、つまりミユキ族華やかかりし頃10代だった若者も今では30代となりました。時代は移り、VANも倒産しアイビーなる言葉の輪郭もおぼろげなるものにはなりましたが、彼らのオシャレ心がいろんな形をとりながらも生き続けていることは確かなことでしょう。その心をもう一度、もつと自由な立場でつなぎとめられたら素適なのではないかと考えました。めまぐるしく変わる若者たちのファッションシーンをよそに、もっとゆったりとした、シンプルでアダルトなライフスタイルを私達で守り続けることができたなら……そんな情熱を密めて、アメリカン・カジュアルショップ“ピック・アップ”は生まれます。このファッション無国籍時代において、あえて“アメリカン”と宣言したのはあまいな中に自分たちの立場というものをはっきりとさせておきたいため。さまざまジャンルの方のご来店をお待ちしています。

●Tシャツ

僕が思うに、これは着こなしが難しいウェアではなからうか？素材が薄く、作りが簡単なため、体の線がもろに出てくる。健康的な体に着こんで始めてセクシーなんだ。Tシャツはまったくフリーなウェアだから着こなし方は十人十色。カラーバリエーション、プリントも豊富だ。

でもやっぱり、若き時代のマロン・ブランドのように白い無地のTシャツを着こなせば最高なだけで。



●コッパン

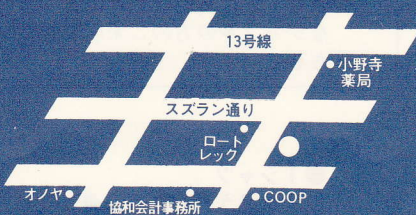
当店のポリシーから言わせてもらえば、長髪よりはショートヘア、ガスライターよりはオイルライター、デジタル時計よりは針が動く時計、そしてジーンズよりはコッパンということになる。なによりも清潔感があるという点で好感が持てます。素材はポップリン、シルエットはオーソドックスなストレート。しかし、最近じゃ、このオーソドックスっていうのがなかなか見かけなくなってしまったのです。当店の尾錠つきコッパンには涙が出てくるのでは……

●追伸

例えば、目立ち方にもいろいろあって、無理やり派手な恰好をして人の目を引く人もいれば、ダークな服を着て大ぜいの中に無言のまま立ってても、やたら光っているという人もいます。おしゃれを定義づけることは恋愛を定義するのと同じで無茶この上ないことだ。ただ言えるのは内面の磨かれた人物は黙っていても漂ってくるものがある。これは誰しもが否定しえないところだろう。当店“ピック・アップ”はそのような男性のためのベーシックカジュアルをピックアップしてゆきたいと思っています。

「5月30日がボクの誕生日」

picK-UP
0245-31-6355
Banseicho Fukushima-City



オープン記念

5,000円以上お買い上げの方に
シェーファーのボールペン進呈。